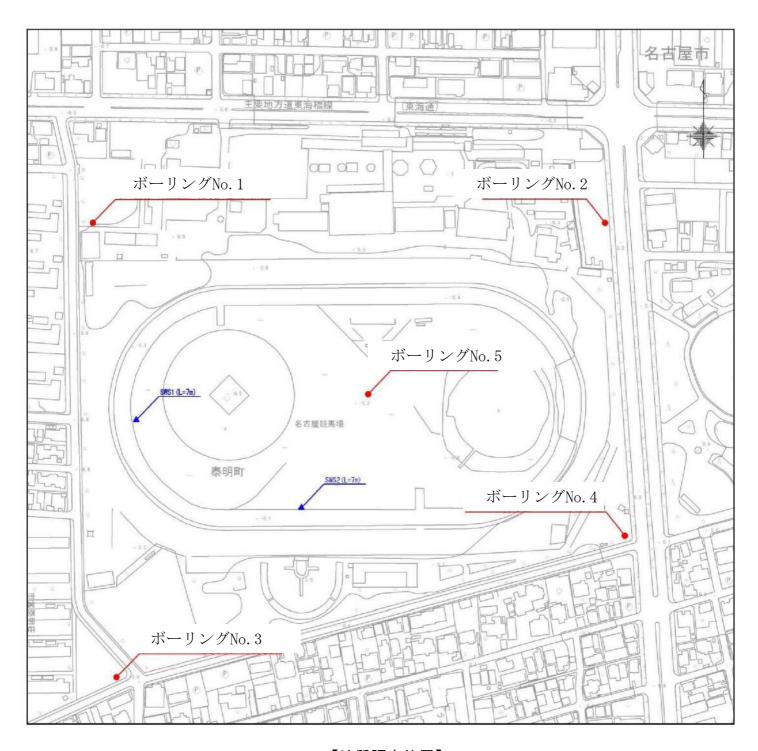
地質調査結果 【別紙3】



【地質調査位置】

調 査 名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

					事業名	また	は	工事	名	第20回フ	アジア競技	大会選手	三村後	6利用地質	[調]	を及び.	土壌調	查業	务委言	£					_				
				1	調査目	的及	び調	查対	象	建築 構	造物基礎														_				
ボー	リング	名	No. 1							調査位置	名古屋市	港区泰明]町1-	-1(名古屋	競馬	등場)									北	緯	35°	06′ 46.0″	
発	注機	関	アジア	競技大会愛	愛知・	名古	屋合	同準	5備:	숲				調査期間	20)18年	4月	6日	~ 20)18年	8月	31	3		東	経	36°	51' 51.7"	
調 ء	企業	名		社ダイヤ: 052 - 681-€		ルタ	ント			主任技師	杉野 康 ^{地質調査技士} 第	博 §16611号		現場代理人	月 地震	斐 牙 調査技士	推博 第1510	7号	盤気	アき者	甲斐地質調査計	雅	博 [151]	07号	ボー 責	ーリン 任	ノグ 者 [#]	伊藤大貴	
孔	口標	高	T. P. -0. 11m		#	80° L	7-90	力	ī 27	10° 90°	地盤	<u> </u> 水平0°	使用	試錐機		R-100H													
総	削孔	長	35.43m		度	_{0°} レ	ア ⁹⁰	位	Z D	東 180°南	盤 勾配	90°	機種	エンジン	N	F90						7	゜ン	プ	KANG) V6			
+7007	+mi	্যুগ্র	現	現	Lih.	tz.	+	1+0	اللا	1	記		孔			Lour	2/64	-1111-	-	- A E	mA.				- L	dol let	S. mrt.	安臣	- ж
標	標	深	場	場場	地 盤 材	色	17日	相			正		内			標	進	貝	$\frac{1}{N}$	深」	験 00mmこ	ځ_	≱ ⊤[5	50 É	+	料採	-	室原	削
	-	nha	土質		料の		対	対	質				水位	Ž	架度	- N	直図				の打撃	回数		司法	t		取	内型	孔
尺	高	度	名(土	工学		密	稠	時小				測								0 100		あ 1	/ /	度	1		置 試 試	月
/ \	()		模様	質	的分類	->03		-4-	代				定月日						<i>1</i> ±		00 200	300	ハビ	시고					
(m)	(m)	(m)		名 盛土・礫混じ り砂		暗灰~	皮	度	名	GL-0.05mまでア GL-0.05~0.9m	間は礫混じりる	Ð	5/8 1.03	0 10	2	0 3	0 4	10 8	0値	(m)	+		量	量量	(m)	号	法	験 験	H
- 1	-1. 01	0.90		シル	1					GL-0.8m付近に る。 細砂を主体とし			=	P					2	1.15	1 1 50 150		2		1, 15	P-1	0	物理	
- 2				ト質細砂		暗灰	rd1			9 る。 層下部ほどシル る。 GL-2.0m付近よ										2.15	1 1		<u>2</u> 300		1. 45 2. 15	P-2	0	物理	
- 3	-2.81	2.70		19	1					5.										2. 45 3. 15	1 3	3	7		2. 45 3. 15	P-3		物理	
· - 4														\rightarrow						3. 45 4. 15	4 4	4	12 _		3, 45 4, 15				
- 5				細砂		暗灰	緩い ~ 中			細砂を主体とす 全体に貝殻片を 入量多い。	る。粒子均一混入する。部	- 3分的に混		•					12	4. 45 5. 15	7 6	7	300		4, 45 5, 15	P-4		物理	
- 6										GL-5m付近より	位子やや担く	¥6.			1				20	5, 45	5 4		300		5, 45	P-5	0	物理	
7	-7. 11	7. 00													6				15	6. 45	D 4	6	15 300		6. 45	P-6	0	物理	
						暗	非常			AT 4 24 1. 1	14.7 T.H								3	7. 15 7. 45	1 2 00	H	300						
- 8				中 砂		灰~灰	非級い 緩い			中砂を主体とし 粗砂を多く混入 火山灰を混入す 全体に含水量多	、和サイルー 、する。 ・る。 い。	-		þ					8	8, 15 8, 45	2 3	3	8 300						
- 9	-9.71	9, 60												}					10	9. 15	3 4	3	10 300						
- 10 -														#					9	10. 15 10. 45	3 3	3	9 300						
- 11						淡灰	400			細砂を主体とす GL-11m付近に不	る。粒子均一 規則にシルト	- - - を混入す							- 8		2 2	4	8 300						
- 12				砂砂		· 淡 黄	緩い 一位の			る。 φ2~5mm程度の GL=12m付近で中 る。淡黄灰色を 白色の火山灰を)細礫を少量混 砂の混入量が 呈す。	見入する。 「多くな			b				16	12. 15	5 6		16						
- 13						灰				白色の火山灰を	混入する。				\rightarrow				_	12. 45 13. 15	6 7	8	21_						

シルト主体で、粘性弱い。 浮石を湛入する。

均質なシルトを主体とする。粘性弱 い。 全体に火山灰を混入する。

火山灰質シル

浮石混じり粗砂

F 15

16

17 18 19

21

· 22 · 23 乳灰

淡 黄 中位の密な

淡 灰 ~ 淡 黄 灰

淡灰

45

- 24 - 25 - 25 - 4 - 25 - 4 - 25 - 4 - 4 - 25 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4	
- 26	
- 27 砂	
29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 2	
- 30 & John 1 23 20 66 250 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 20 30 15 17 20 30 15 1	
31	-
32	
- 33 -33,71 33,60 -34	_5_9
- 34 シルト混じり 暗	5-10

調 査 名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

ボ	- リ:	ング	名	No. 2	調査位置	名古屋市港区泰明町1-	-1(名古屋)	競馬場)	北 緯 35° 06′ 47.4″
発	注	機	関	アジア競技大会愛知・名古屋合同準備	会	•	調査期間	2018年 4月 6日 ~ 2018年 8月 31日	東 経 136° 52′ 9.6″
調	查第	美 者	名	株式会社ダイヤコンサルタント 電 話 052-681-6711	主任技師	杉野 康博 ^{地質調査} 禁:第16611号	現 場代理人	甲斐 雅博 ^{地質調査技士} 鑑 定 者 ^{地質調査技士}	ボーリング 貴 任 者 地質調査核士 金銭番号:
孔	П	標	高	T. P. 角 180° 方 200° 万	707 10 90°	地 水平0° 使	試錐機	YBM05 DA-2	
総	削	孔	長	度	180°南	第 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7	エンジン	NFAD-9 ポンプ	GP-5
樗			涇	現現場の一切の		記 刀		描 淮 貫 λ 計 脸	計

標	標	深	現	現	地	色	相	相	地	記	孔			標	準	貫	入	試	懸	é			試	料採	取	室原	削
			場土	場	盤材				質		内水						N	深	100m の打	nごと 撃回数		50 自		試	採	位	. _,
尺	高	度	質	土	料のエ		対	対	時		位/		深度	E-N	値図						学 ご .	回沈時の時		料	取	内 置	łL
			名(洪	質	工学的		密	稠	代		測定							度		00 200 } }	7 - 1		度	番	ヵ	試結	
(m)	(m)	(m)	模 様)	名	10分類	調	度	度		事	月日	0 1	10 2	0 3	so -	10 5	値	1 1	100 2	300	'[入]	入员量			法	験験	
				1 盛土・礫混じ り砂	///	茶灰		12		GL-0.1mまでアスファルト。 GL-0.1~0.9m間は、改良土で粒子不均				0 3		5	0 ,,					<u> </u>	(,	.,	124	- DC-V	
1	-0. 67	0, 90		細砂		暗灰	rdl			所φ φ5~30mm程度の礫点在する。 細砂を主体とし、粒子不均一。 層下部で、シルト分を混入する。	5/8 1.70	٩					3	1. 15	1	1 1	3 300						
2	-1. 57 -2. 27	2, 50		シルト		暗灰		rcl		シルト主体で、粘性やや強い。 全体に腐植物を混入する。	-	\longleftarrow						2. 15	自沈		0 450	45					
3																	13	2. 60 3. 15		5 4	13_	10	3, 15	P-3		物理	
4																	"	3. 45 4. 15	2	1 2			3, 45 4, 15				
E 5				細砂		暗灰	緩い ~ 位の			細砂を主体とし、粒子均一。 GL-4m付近に少量のシルトを混入する。 全体に貝殻片を混入する。		*					5	4. 45 5. 15	2	2 3	300		4, 45	P-4	0	物理	
										部分的に混入量多い。							7	5, 45	1		300		5, 45	P-5	0	物理	
6												•					6	6, 15	3	2 1	6 300		6. 45	P=6	0	物理	
7	-6. 77	7.00										4					4	7. 15	1	1 2	<u>4</u> 300						
8												+					6	8, 15 8, 45	2	1 3	6 300						
9												-					7	9, 15	2	2 3	7 300						
10						nie.				全体に細砂を主体とするが、粒子不均		\					11	9, 45	4	3 4	11 300						
11				細砂		淡 灰~	緩いたの			部分的に中砂の混入量多くなる。 GL-7~9m付近にφ2~5mm程度の円礫を 少量混入する。 GL-14m付近は細砂主体で、シルトを混								10. 45 11. 15	3	3 4	10_						
12				112		黄灰	位の			入する。 火山灰を混入し、部分的に混入量多い。 含水量多い。		'					10	11, 45 12, 15	5	6 7	300						
										占小里多√。							18	12. 45			300						5/8
13													1				15	13, 15 13, 45	4	5 6	15 300						
F 14																	10	14, 15 14, 45	3	3 4	10 300						
15	-14, 77	15, 00											8				19	15, 15 15, 45	4	6 9	19 300						
16														\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			24	16, 15	8	7 9	24 300						
17															-		38	16, 45 17, 15	11 1	3 14	38_						
18				浮石		淡												17. 45 18. 15		8 9							
19				現じ		灰 ~ 淡	中位 の~ 密な			全体に粗砂を主体とし、粒子不均一。 浮石を混入し、部分的に混入量多い。 所々φ2~10mm程度の亜円礫を混入す る。							24	18. 45			300						
				粗		黄灰	密な			ã.							28	19, 45		0 10							
20 21				砂									1				17	20, 15	7	5 5	17 300						
																	15	21. 15 21. 45	5	4 6	15 300						1
22															>		37	22. 15	9 1	3 15	37 300						
23	-22, 57	22, 80	/			3str								<u></u>	\vdash		27	23, 15	6	9 12	27 300						
.,				シル		淡灰												23, 45									

25 124 124 125 126 126 126 137 147 147 147 147 147 147 147 14	シルト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	※ 灰 (黄 灰 (黄 灰 / ※ 青 灰	細砂を主体とし、粒子ほぼ均一。 シルトを少量視入する。 デルブロック状にシルトを混入する。 GL-25m付近はシルトの混入量が少ない。	27 \frac{23.15}{23.45} \frac{6}{300} \frac{9}{300} \frac{12}{300} \frac{27}{300} \frac{23}{300} \frac{23}{300} \frac{14}{24.45} \frac{4}{5} \frac{5}{5} \frac{14}{14} \frac{14}{24.45} \frac{77}{31} \frac{2}{60} \frac{60}{210} \frac{210}{210} \frac{210}{210} \frac{20}{300} \fra
27 28 28 29 30 30	報報	略 で 常な 常な	細砂を主体とし、粒子均一。 層上部は粒子が粗い。 層下部はシルトを少量混入する。	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
32 -31.77 33 -33 -34 -34.22	32,00 シルト にじり 細砂	暗 灰	細砂を主体とし、粒子均一。 全体にシルトを少量流入する。 GL-32m付近、溥蘭状にシルトを挟む。	30 22.15 8 9 13 30 300 22.45 48 33.43 15 20 48 300 300 300 300 300 300 300 300 300 30

調 査 名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

		时.担107.经1使		-
ボ―リング 名	No. 3 調査位置	名古屋市港区泰明町1-1	1(名古屋競馬場)	北 緯 35° 06′ 32.8″
発注機関	アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会		調査期間 2018年 4月 6日 ~ 2018年 8月 31日	東 経 136° 51′ 52.7″
調査業者名	株式会社ダイヤコンサルタント 電 話 052-681-6711 主任技 師	杉野 康博 **寶寶書等: 第16611号	現 場 甲斐 雅博 代理人 ** ¹ **	ボーリング 養婦 養婦養養士
孔口標高	T.P. 角 180° 方 ポーク°	地 水平0° 使	試 錐 機 DM03	
総削孔長	35. 45m 度	地	エンジン NFD-8 ポンプ	BG-2
			-	
標標深	現 現 地 色 相 相 地	記 孔	標準貫入試験	試料採取 室原 削

標	標	深	現	現	地	色	相	相	地	記	孔			標	進	貫	<u> </u>	試	験				試		取	室原	削
			場土	場	盤材				質		内水				<u> </u>		N	涳	100mm この打撃	同様を		50 自	_	試		位	
尺	高	度	質	土	料の		対 	対	時		位/		深度	E-N	値図						ΞŢ.	□ 沈 時		料	取	内 置	孔
	ln1	12	名(質	工学		密	稠	代		測定							度	0 100		あ 1	の質質	1		方	試試	月
()	()	()	模様		的分類	雪田	nte	nte		事	上月 日						荷		100 20	300	74F	시入					
(m)	(m) -0.83	(m) 0.35	_°;	名 盛土·砂礫 細	無	暗褐灰	度	度	名	す GL-0.05mまでアスファルト。 GL-0.05~0.35m間は改良土で粒子不均	5/28 0.80		10 2	20 3	0 -	40 50	0値	(m)			量	量 量	(m)	号	法	験験	+
1	-1.48	1.00		砂		暗灰暗				一。 細砂を主体とし、粒子不均一。	뫁	,					1	1. 15	1_300		1 300						
2				シルト		灰 ~ 褐		rel		シルトは全体に均質で、粘性やや強い。 全体に腐植物を混入する。		\vdash					┨,	1.45 2.00			0						
3	-3, 28	2, 80				灰				THE LANGE IN CASE OF STREET		\setminus					°	2. 60 3. 15	自沈 2 3		7	600	1				
												8					7	3, 45 4, 15			300						
				細		暗	緩い~中			細砂を主体とし、粒子均一。 GL-3m付近に少量のシルトを混入する。 全体に貝殻片を混入し、部分的に混入 量多くなる。		1					9	4.45	3 3	3	9 300						
5				砂		灰	位の			全体に貝殻片を混入し、部分的に混入 量多くなる。			>				13	5, 15	3 5	5 1	13 300		5. 15 5. 45	P-5	0 1	理	
6												1					9	6, 15	3 3	3	9		6, 15	P-6	0 %	理	
7	-7.48	7. 00										-					4	7. 15	1 1	2	4 300						
8																	6	8, 15	2 2	2	6_300						
9						灰	40.			細砂を主体とし、粒子不均一。 GL-7~9m間に白色の火山灰を混入す る。							-	9, 15	3 3	6	12						
10				細砂		黄灰	緩い への			GL-10m付近より黄灰色を呈する。粒子 ほぼ均一。 GL-11~12m付近、 φ2~5mm程度の浮石			•				12	9, 45 10, 15	6 8		300						
11										1816年7日 - 12m付近、 62~5mm程度の浮石 を混入する。 全体に含水量多い。							24	10. 45			300						
														1			20	11. 45	4 6	10 2	300						
12	-12.63	12. 15															21	12. 15 12. 45	6 6	9 2	21_ 300						- <u>5</u> -
13				シ		黄灰		中位の~		均質なシルト主体である。 層上部に腐植物を混入する。 GL-13m付近、細砂を混入し、砂質シル			ø				13	13. 15 13. 45	5 4	4 1	13 300						
14				ルト		灰~ 灰		非常にい		ト状を呈する。 GL=14m付近より少量の火山灰を混入する。							7	14, 15	2 3	2	7						
15	-15, 83	15, 35												Na.			21	l I	2 5	14 2	21						
16	-16, 28	15. 80	-45	火山灰質シル ト		乳灰				シルト主体とし、粘性弱い。 全体に火山灰を混入する。								15. 45 16. 15	8 11	12 3	31						
17						灰									\setminus		31	16. 45 17. 15	11 12		300						1
18				細砂		暗	rd4			細砂を主体とし、粒子不均一。 層下部では粒径が粗くなる。 部分的に少量のシルトを混入する。							37	17. 45 18. 15			300						
F I						灰								'	K		30	18. 45			300 300						
19	-19, 88	19. 40		浮										<u> </u>	>		32	19, 15 19, 45	10 10	12	32 300						1
20				产 石 混		25				粗砂を主体とし、粒子不均一。 - 全体によりので、程序の減ケナを辿って				1			26	20. 15 20. 45	11 8	7 2	26 300						1
21				l' 9		黄灰	rd3			粗砂を主体とし、粒子不均一。 全体にφ1~3mm程度の浮石を混入し、 部分的に混入量多くなる。 層下部では浮石の混入量多くなる。							22	21, 15	6 7	9 2	22 300						
22	-22, 73	22, 25		粗砂 砂 火山灰質シル						South the Money Williams		-					>• 50	ll	10 19	21	50 300 S	300					
23	-23, 28	22, 80	25	ト		黄灰裙	5			シルト主体で、粘性弱い。 浮石を混入する。		_		_				22. 45 23. 15	2 2		7_300						
24				シ		灰				シルトを主体とし、全体に均質であ							7	23. 45 24. 15	2 3		8_						1
				ゝぇょ		~ 淡 灰		中位の		る。 層下部ほど粘性強く、淡灰色を呈す。 全体に腐植物を混入する。							8	24. 45	2 3] -	300						

33	31	29	26 27 28	25
				-26.38
35, 45	32, 50		29 70	25, 90
砂 質 シ ル ト	シルト選じり細砂	砂質シルト	和 砂	シ ル ト
	-			
暗灰	暗灰	暗灰	火	
	rd3		中位の密な	
rc5		rc5		中位の
全体に細砂を混入し、部分的に混入量 多くなる。 粘性弱い。	御砂を主体とし、粒子均一。 全体にンルトを混入し、所々混入量多 くなる。	全体に細砂を多く混入する。 細砂は粒子均一。 粘性弱い。	細砂を主体とし、粒子均一。 ユ-2晌仕近にシルトを少量混入する。 層下部では暗灰色を呈する。	ンルトを主体とし、主体に砂貝じめる 電下部ほど粘性強く、淡灰色を呈す。 全体に磨植物を混入する。
23.15 3 5 7 15 33.45 5 8 10 23 34.15 5 8 10 23 35.15 3 5 8 16 36.15 3 5 8 16	28 30.15 6 8 14 28 300 30.43 30.03 37 300 27 31.15 6 8 13 27 300 32.15 7 8 9 24 300	20.15 4 6 8 18 18 29.45 300	20 20 20 15 3 7 10 20 20 26 45 26 45 26 45 26 45 27 45 27 45 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	8 21,15, 2 3 3 8 70,0 1 1 1 1 1 1 1 1 1
14.		<u>-1</u>		
5 30		5 29	1	

調 査 名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

					調査目	的及	び調	查対	象	建築 構	造物基礎													_					
ボー	-リング	名	No. 4							調査位置	名古屋市洋	港区泰明	町1	-1(名吉	屋競	馬場)								#	公 緯	35	° 06′	36. 90 <i>"</i>	
発	注 機	関	アジア	競技大会	愛知・	名古.	屋合	同準	備:	会				調査其	期間 2	2018年	4月	6日~	~ 2018	年	8月 3	1日		東	[経	136	52'	10. 50 "	
調 3	* 業 者	名		社ダイヤ: 052 - 681-		・ルタ	ント			主任技師	杉野 康†	博 16611号		現代理	場地	甲斐 牙 質調養技士	推博 第1510	7号 !	国に	アは	型 調 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質	雅博	5107	号	ボー! 責 信	ー リング E 者	森田地質調	達也 第 第219	914号
孔	口標	高	T. P. -0. 07m		角 1	80°	\	方	ī [700	1 1	<u>水平0</u> °	l			(R-100F								•					
総	削孔	長	28. 45m		HF 1		ナ ⁹⁰ ——	位		180°南	地盤勾配 鉛直 9		使用機種	エンシ	ジン N	NFD9						ポ :	ンプ	V	-5				
標	標	深	現	現	地	色	相	相	抽		記		孔			標	淮	世	入言	4				- 1	学术	·採取	, [室原	削
121	121	1	場	場	盤材	-			質		,,,		内水			125		<u> </u>		100	内穴 Ommごと 丁撃回数	打	50	自		式 採	1	上位	1,,,
尺	高	度	土質	土	料の		対	対	時				位/		深度		値図			00,	14603	一学		n+	k	 		内 ^上 置	孔
	同	及	一	 質	工学的		密	稠					測定						度	0 }	100 20	0 と の	自雷	の質	度	, 香 方		型 試 試	月
			模様		的	=03					+		月						Inter ()	- 1	200 30	引入	그	入					
(m)	(m) -0.67	(m)	/%	名 盛土·砂礫	+ ***	調 暗茶灰		度	名	GL-0.05mまでで GL-0.05~0.6m	マスファルト。 間は砂礫。		日	0 10	0 2	20 3	0 4	10 50	值 (m)	+		量	重	並	(m) -	뤗 法		験 験	
1	-1.42	1.35		細砂		褐灰				細砂を主体とし 所々貝殻片を活			5/28 1.60	٩					4	5 2	1 1	<u>1</u> 300							
2				シ						シルト主体で	全体に均質で:	なる 牡	*	/					1. 48 2. 00	- 1		0 450	_	450					
3				ルト		所		rel		シルト主体で、 性やや強い。 非常に柔らかい	,°	00 00 NB							3, 00	4		0							
F 4	-3, 87	3, 80			-														3, 50		3 3			500	4. 15				
minul K														8	\				9 4.48	5		300			4. 45 5. 15	-4 C	物理		
				細		暗	非常に級い~			薫多くなる。	ン、粒子均一。 全混入し、部分的				هر				13 5. 45		4 6	13 300		Г	5. 45	-5 C	物理		
Lundan Lundan				砂		灰	中位の			LA.	、シルトを少量 レトの混入量多								2 6, 48	150	150	300	-						
7														9					7. 15 2 7. 48	1 150	1 150	2 300	-						
8	-8. 07	8.00			1														10 8.48	Ľ	3 4	10 300	-						
9															•				9, 15 12 9, 45	"	4 4	12 300							
10				細砂		灰~黄	緩いで			細砂を主体とし シルトを少量 多くなる。 所々 o 2~5mm和				/					10.1 8	5 2	3 3	8 300							
11				42		灰	位の			る。 火山灰を混入っ									10. 4 11. 1	1	3 3	8 300	-						
12																			11.4	1	3 3								
13	-12, 57	12. 5	0	シ ·	1	淡		rc4		シルト主体で、全体に腐植物を	粘性強い。			-					12. 4	1	3 3								5
14	-13.97	13. 9	0	ト	1	灰		104		全体に腐植物を	ど少量混入する。	0	-	٥					9 13.4	5	6 8	300 19	1						28
15				細		淡 灰	rd3			細砂を主体とU GL-14m付近で普 黄褐色を呈す。	ノ、粒子均一。 『分的に腐植物:	を含み、							19	5		300							
F		16.0	0	砂		黄灰				所々火山灰を別	見入する。					1			23	5 7	8 8	300	1						
16					7														25 16. 4	5 8	8 9	25 300							
- 17 -										粗砂を主体とし	· 、粒子不均一。	0				•			24 17. 4	Π'	8 9	24 300	-						
18				粗 砂		黄灰	rd3			所々 62~10mm る。 浮石を混入する	程度の亜円礫を	で混入す				}			26 18. 4	Π'	9 10	26 300							
19																+			26 19, 4	Ľ	9 9	26_ 300							1 1
20	-20, 07	20, 0	0		-	-										\vdash	b		20. 1 31	5 9	10 12	31 300							
21	-91 57	21. 5		細 砂		淡灰	rd4			細砂を主体とし 少量の浮石を記	、粒子均一。 乳入する。								20. 4		10 11	31_ 300							
22	-21.5/	41.5	41.00 M	火山灰質シバ	ı	淡		rc4	1	シルト主体で、	粘性やや弱い。			باء.					21. 4		3 3	9_							
23	-22, 92	22. 8	5	,	-	灰			-	微量の腐植物を	「低人する。			G#	_	<u></u>	_		9 22. 4 23. 1	5 5 13	18 22	53							
£ 10																		=	53 23. 4		10 22	300	300						

25		淡 灰 淡	細砂を主体とするが、粒子不均一。	→ 52 1.15 1/3 1/7 22 52 52 300 300 25 1.15 1/4 1/8 21 53 200 100 100 100 100 100 100 100 100 100
26	弁相 石沙	黄 灰 rd5 ? 灰	細砂を主体とするが、粒子不均一。 GL-24m付近、粗砂を多く混入する。 610~15mm程度の亜円磯を混入する。 層下部は細砂主体で、粒子均一。 GL-28m付近、シルトを混入する。	→ 53 5.45 300 300 5.5.45 5.45 5.45 5.7 5.00 300 5.5.45 5.45 5.5.45 5.45 5.45 5.45 5.4
27	10000 10000 10000	淡灰		→ 54 27.15 14 19 21 54 300 300 27.45
28 -28, 52	28, 45			→ 54 13 18 23 54 300 300 5.29

調 査 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

				_	調査目	的及	び調	查対	象	建築 構造物基礎												-				
ボー	-リング	名	No. 5							調査位置 名古屋市港区泰明	町1-	-1 (名さ	占屋競	馬場)								北	緯	35°	06′ 41.50	<i>"</i>
発	注 機	関	アジア	競技大会	愛知・	名古	屋合	同準				調査期	1間 2	018年	4月	6日 ~	- 20)18年	8月 3	1日		東	経 1	36°	52' 1.50	<i>"</i>
調3	査 業 者	名		社ダイヤ 052 - 681-		ルタ	ント			主任技師		現代理	場場	日斐 邪 『調査技士 分 登録番号	鮭博 第1510	7号 🗐	監力	アドミ者地	月斐 :	雅博 第15	107号	ボ- 責	ーリン 任	グイ	幾部 伸介 質調查技士 登録番号:	`
孔	口標	高	T. P. -0. 55m		角 13	80° L	\	方	. 97	W = 2	使用機)	試錐		M03					E. S.S. EE - 7 -		-				3. P. B. 7.	
総	削孔	長	50. 45n		# •		ナ90	位	西	************************************	機種	エンジ	ンN	FD-8						ポン	・プ	BG-2	2			
_	I		1		1		T												•							11
標	標	深	現場	現	地盤	色	相	相			孔内			標	準	貫	入 [元		験 Dmmごと	+T	50 £	+	料採		室原	削
			土質	場	材 料 の		対	対	質		水 位		深度	€− <i>N</i> (直図		N	深 0.)mmごと 打撃回数	撃撃	50 自 対	2			内位	孔
尺	高	度	名	土	ΙŤ.		恋	稠	時		/ 測							度 0	1 1		の質	度			置 法	月
			模様	質	学的分		"	1/41	代		定月								200 30	書	見り入り		番	方	試試	,,
(m)	(m)	(m)	13%	名	類	調	度	度			∄ <u>▼</u>	0 10	2	0 3) 4	0 50	値	(m)		量	量量	(m)	号	法	験験	日
1				盛土・シル 混じり砂	ŀ	暗灰	rdl			細砂を主体とし、粒子均一。 全体にシルトを多く混入する。 所々腐植物を混入する。								1. 15		0		1, 15				
2	-2, 25	1. 70			\dashv												0	自沙 1.60 2.15 3	3 4	450	48	1.60 2.15	P-1		物理	1
2																	10	2.45		300		2, 45	P=2	0	物理	
				細		暗	緩い~中			細砂を主体とし、粒子均一。 GL-3a付近より貝殻片を混入し、部分的			\				9	3, 45	3 3	300		3, 15	P-3	0	物理	
				砂		灰	位の			に混入量多い。全体に含水量多い。			>				15	4. 15 5	5 5	15 300		4, 15	P-4	0	物理	
5												ø	/				11	5.15 4 5.45	4 3	11 300		5, 15 5, 45	P-5	0	物理	1
6	−6 , 55	6, 00			\dashv							•					3	6, 15 1	1 1	300						1
7																	5	7. 15 1	2 2	<u>5</u> 300						1
8																	- 6	7. 45 8. 15 2	2 2	6 300						1
9						淡	非常			中砂を主体とし、粒子不均一。								9. 15 5	4 6	15						1
10				中砂		黄 灰 ~	に級や中の			全体に粗砂を混入する。 GL-7m、9m付近は細砂主体で、不規則に シルトを混入する。 含水量多い。							15	9. 45	4 5	300						1
11						灰						ď	<u> </u>				12	10, 45		300						1
													þ				15	11. 45		15 300						
12													/				20	12. 15 6 12. 45	7 7	300						
13	-13.65	13. 10		浮石混じり料	粗	黄	rd3			粗砂を主体とし、粒子不均一。 全体によ2~10mm程度の浮石を混入し。							22	13. 15 6 13. 45	7 9	22 300						
14	-14, 80	14. 25		砂 シ	-	灰黄	1.40	中位	1	全体に。2~10mm程度の浮石を混入し、部分的に多く混入する。			_				13	14. 15 7 14. 45	3 3	13 300						
15	-15, 90	15, 35		ルト	1.	灰~灰		の~ 硬い		シルト主体で、粘性強い。 全体に均質である。 全体に腐植物を少量混入する。						\supset	51	15.15 6	14 31	51 300	300					
16		16. 00		細		灰灰	rd3	固結した		シルト主体で、粘性弱い。 細砂を主体とし、粒子不均一。				q			26	15. 45 16. 15 10	9 7	26 300						
17	-17, 25 -17, 80	16. 70 17. 25	====	砂 シルト	_	暗茶灰	:							-				16. 45 17. 15 7	10 13	30						
18						prér											30	17. 45 18. 15 6	9 10	25_						
19				細砂		普黄灰	中位の公容な			細砂を主体とし、粒子不均一。 GL-18m付近ブロック状にシルトを混入 する。				•	\		25	18. 45		300						
	-20, 35	19. 80			4											>	50	19, 45	17 18	300	300					
20				浮石混じ		黄	中位の~			中砂を主体とし、粒子不均一。 全体に φ1~3mm程度の浮石を混入す							31	20.15 7	10 14	31 300						
21	-22.35	21, 80		し り 粗 砂		灰	密な			る。 層下部では浮石の混入量多くなる。				8			22	21. 15 7 21. 45	7 8	22 300						
22		21.00		シ d	1	淡		red		シルト主体で、粘性中位。全体に均質である。		«	$\overline{}$				11	22.15 3 22.45	4 4	11 300						
23	-23, 90	23, 35		ト	_	灰		rc4		全体に均質である。			/				18	23, 15 3	5 10	18 300						5/8
24															•		36	23. 45 24. 15	11 14	36 300						

139 39 40 40 41 42 42 43 43 44 45 46 47 47 48 48 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49	35 36 37 38	31 32 33 34 34 34	25 26 27 27 28 29
	-38, 25	-31, 55 -34, 15	<u>−29, 55</u>
50. 45	37.70	31,00	29, 00
シ ル ト	シ ル ト ト 火山灰質シル ト	砂シルト混じり細砂	粗砂
	_	-	
暗灰	暗灰淡灰	灰暗灰	淡灰~青灰暗
3	ш	rd4 中位 の密な	密へ常密
·c4	rc4 回結 た		
シルトを主体とし、粘性中位。 全体に均質である混入する。 全体に見続けを混入する。 全体に見続けを混入する。 GC J Gal 付近より貝殻片の混入量少なく なる。	シルトを主体とし、粘性弱い。 全体に均質である。 少少を混入する。 要値物を少量混入する。 要をかりない。 シルト主体で、粘性弱い。 火山灰を多く混入する。	細砂を主体とし、粒子均一。 シルトを少量混入する。 細砂を主体とし、粒子均一。 不規則に少量のシルトを張入する。 部分的にシルトの混入量多い。 GL-31m付近に腐植物片を少量混入する。	粗砂を主体とし、全体に粒子不均一。 全体に 0.2~5mm程度の円確を少量混入 する。
10 33,45 3 4 3 10 10 10 10 10 10 10	$14 \begin{vmatrix} 34.45 \\ 34.45 \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} 3000 \\ 35.45 \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} 35.15 \\ 36.65 \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} 35.15 \\ 3600 \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} 35.1$	32 30, 13 9 10 13 32 360 360 360 360 360 37 360 37 360 37 360 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37	36 \(\frac{21.15}{24.15} \) 11 \(\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc
الله المارسية المارسة المارسية المارسية ال	(a) (a)		